

第2高射特科団本部・第3高射特科群 「福岡県総合防災訓練」



災害対策本部での対応



埋没車両からの救出訓練



ヘリ及び偵察バイクによる現場偵察



関係機関との調整

駐屯地（第2高射特科団本部及び第3高射特科群）は6月2日（日）、福岡県、田川市及び香春町の共催により行われた「福岡県総合防災訓練」に参加しました。

本訓練は、自衛隊のほか県や地元自治体、消防、警察及び地域住民など約400人が参加したもので、1時間に約130ミリの記録的短時間大雨による浸水被害やマグニチュード6・9、最大震度6強の地震による家屋の倒壊等を想定した訓練のほか、防災関係機関

約130ミリの記録的短時間大雨による浸水被害やマグニチュード6・9、最大震度6強の地震による家屋の倒壊等を想定した訓練のほか、防災関係機関



ホーク器材と最後の集合写真



朝日に照らされるHAWK (発射機)

第3高射特科群は7月17日（水）、群の装備から退役することになったHAWK K器材の管理換出式を実施しました。群は、1971年（昭和46年）に西部方面隊初の地対空誘導弾（HAWK）を装備する部隊として新編され、以後約53年になります。HAWKとともに心より感謝申し上げます。

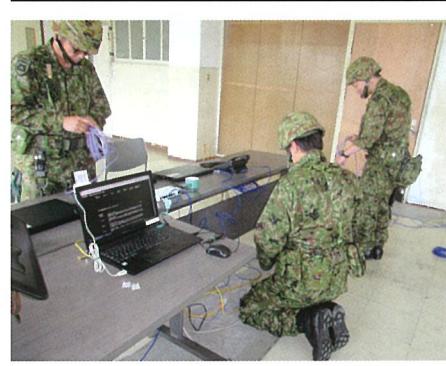
第3高射特科群「HAWK管理換出式」



現地における命令下達



現地の特性を生かし陣地選定

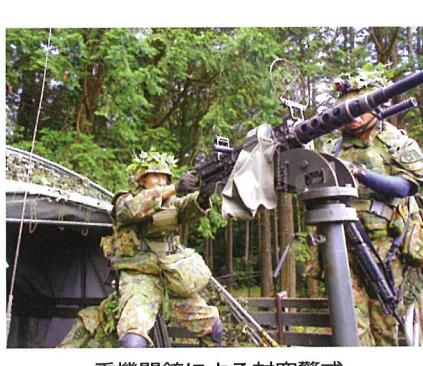


臨時回線構成



施設防護

第304基地通信中隊飯塚派遣隊 「西部方面システム通信群演習」



重機関銃による対空警戒



訓練開始式

第304基地通信中隊飯塚派遣隊は7月15日（月）から7月19日（金）までの間、飯塚駐屯地において西部方面システム通信群演習に参加しました。各級指揮官の実員指揮、戦闘力の組織化を演習項目とし、特にシステム通

信回線構成及び施設等の防護要領について演練し、実員指揮能力及びレジリエンスの向上を図ることができました。また、訓練終了直後の検討会により教訓事項を整理して、今後の任務の質

第102高射直接支援大隊「大隊訓練検閲」

第102高射直接支援大隊は7月1日（月）から7月6日（土）までの間、目達原駐屯地、十文字原演習場及び日出生台演習場において令和6年度大隊

訓練検閲を受閲しました。

大隊は第2高射特科団の保有する装

備品等の整備・回収を行う部隊で、広

範囲に展開する第2高射特科団等を

直接支援しています。

本訓練検閲受閲にあたり「前向きに

困難な状況にも、隊員一丸となって日頃

の訓練成果を十分に発揮し、創意を凝ら

して無事に任務を完遂しました。

本訓練検閲を通じて得られた様々な成

果を基に、さらなる練度向上のためいか

なる任務も完遂し得るよう引き続き、訓

練及び隊務に精励してまいります。



RCMATへのバトラー装着



RCMATの発進風景

第304無線誘導機隊は、8月5日（月）から9月12日（木）までの間、鹿児島県肝属郡南大隅町にある佐多射撃場において7個部隊に対し、目標機支援を行いました。

この間、小型模型標的機（RCMATE）にレーザー交戦装置（バトラー）を装着し、民の方々との交流を図るとともに、自衛隊に対する理解を深めることができました。

第304無線誘導機隊 「対空実射訓練目標機支援」

第304無線誘導機隊では、筑城訓練や追隨訓練を実施して銃操作練度の向上を図るとともに、空砲射撃を実施して射撃要領の確認をしました。北熊本駐屯地においては、シミュレータを使用した疑似目標による追隨訓練を実施して、より本番に近い状況下においての訓練を実施しました。

佐多射撃場では、その訓練成果を十分に發揮し、見事命中の成果を得ることができました。



対空実射訓練目標機支援

G対空実射訓練を飯塚駐屯地、北熊本駐屯地及び佐多射撃場において実施しました。付隊長を訓練担任官として2高団隸下部隊及び方面直轄部隊を統制し、射撃命中目標に隊員一丸となり訓練に邁進しました。

飯塚駐屯地での団統一訓練では、築城訓練や追隨訓練を実施して銃操作練度の向上を図るとともに、空砲射撃を実施して射撃要領の確認をしました。北熊本駐屯地においては、シミュレータを使用した疑似目標による追隨訓練を実施して、より本番に近い状況下においての訓練を実施しました。

とができました。
市が主催する市民祭「飯塚山笠」において音楽演奏を支援をしました。
また、山笠の担ぎ手として第2高射特科団副団長を含む駐屯地所員もボランティアとして参加し、地域の方々との絆を深めることができました。



山笠会場での音楽演奏

駐屯地は7月15日(月)、飯塚市が主催する市民祭「飯塚山笠」において音楽演奏を支援をしました。

長年にわたる自衛隊勤務、大変お疲れ様でした。前田2佐と藤川3尉、並びにお二人のご家族の今後益々のご健勝をご多幸をお祈り申し上げます。

藤川3尉は、32年有余の永きにわたる勤務を終え、8月1日(木)付をもって、退官されました。



藤川3尉見送り

第366会計隊飯塚派遣隊
藤川3尉は、32年有余の永きにわたる勤務を終え、8月1日(木)付をもって、退官されました。



前田2佐見送り

飯塚駐屯地業務隊 前田2佐は、31年有余の永きにわたる勤務を終え、9月9日(月)付をもって、定年退官されました。

第366会計隊飯塚派遣隊
3等陸尉 藤川浩志飯塚駐屯地業務隊
2等陸佐 前田努

隊員食堂メニュー紹介

隊員食堂で提供されているメニューの一部を紹介します。

（ぶつかけうどん）
粘り強さの
麺（ハワイの郷土料理）
一口コモコ丼（松山駐屯地名物）
山賊焼カレー

ヘリコプターへの搭乗



広報館見学



駐屯地は7月6日（土）自衛隊福岡地方協力本部が実施した航空機体験搭乗を支援しました。

入隊希望者等約60名が参加し、西部方面へリコプター隊の保有する多用途ヘリコプター（UH-1J）への体験搭乗の他、駐屯地広報館の見学をしていただく等、自衛隊に対する理解を深めていただくとともに、自衛官募集に貢献しました。



広報館での取材



説明を熱心に聞く生徒



嘉穂高校出身隊員との記念写真



嘉穂高校の先輩 枝次群長への取材

駐屯地は7月6日（土）自衛隊福岡地方協力本部が実施した航空機体験搭乗を支援しました。

駐屯地は7月23日（火）、福岡県立嘉穂高等学校新聞部からの取材を受けました。

自衛隊全般に関することから駐屯地の成り立ちや活動状況、また嘉穂高校出身である第3高射特科群

駐屯地は7月23日（火）、福岡県立嘉穂高等学校新聞部からの取材を受けました。

隊員たちも丁寧に取材に対応し、終始和やかな雰囲気で行われました。

航空機体験搭乗

嘉穂高校新聞部取材受け

お問い合わせ先

陸上自衛隊 飯塚駐屯地広報室

〒820-0064 飯塚市津島282 ☎ 0948-22-7651
Mail: 2aab-s3opns-wa@inet.gsdf.mod.go.jp

飯塚駐屯地

検索



飯塚駐屯地ホームページ



飯塚駐屯地X (旧Twitter)

フォローよろしく
お願いします!!

